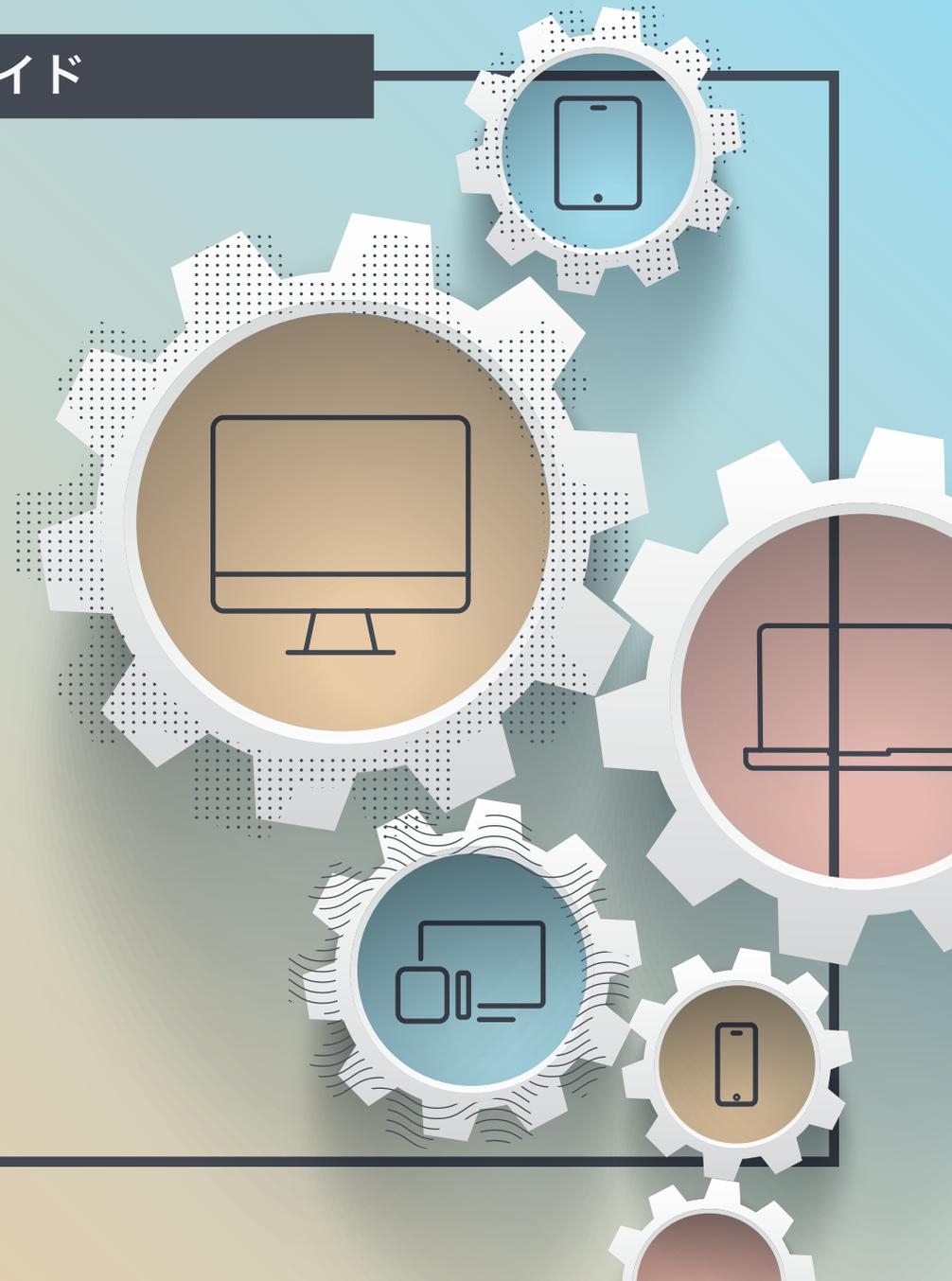


総合ガイド

初めての方向のため のApple

デバイスマネジメント



先日フォーブスはApple 製デバイス がビジネス業界において20%の成長 率を見せており、2020年までにその 率は2倍になると報告しました。

世界のビジネスシーンや教育の現場でApple製デバイスの利用数が伸びているため、企業がMac、iPad、iPhone、Apple TVの能力を全て引き出すために技術投資を最大化するのは不可欠なことです。続々と出てくる新デバイスを管理しなければならないIT担当者にとっては大変な重荷となりかねません。特に、Windows環境にいらっしゃる方々には。

Apply製品をよくご存知の方も多くいらっしゃいますが、Appleデバイスマネジメントを初めてお使いになる方も多くはまずです。初心者の方々のために、本ガイドでApple管理スキルを構築、習得するお手伝いをいたします。



Appleデバイスマネ
ジメントの基礎

3ページ



ご利用可能なApple
サービスおよびプログ
ラムについて

5ページ



ライフサイクル管理ス
テージの概要

7ページ



インフラ計画のインサ
イト

24ページ



業界をリードする
Apple管理ソリューシ
ョンの概要

25ページ



Apple デバイスマネジメントの基礎

Apple製デバイスの管理方法を考えるとき、ライフサイクルを今後自分が行なう共通作業に分類すると役に立ちます。こうした作業はApple、PC、Androidのどれかを管理する、またはこのすべてを管理するかどうかに関わらず同じことです。

MDM の役割

内臓のモバイルデバイスマネジメント (MDM) のフレームワークのおかげで、ほとんどのApple製デバイスでリモートワイプまたはパスコード制限設定を理解し、実行することができます。MDM フレームワークの中心的な二つのコンポーネントは、構成プロファイルと管理コマンドです。

この二つのコンポーネントはAppleのプッシュ通知サーバー (APNS) を経由してデバイスとつながります。Appleから安全証明書を取得すると、あなたの企業でAPNSがプライベートなものになります。そして、Appleのサーバーはデバイスに常時接続された状態になるため、あなたが常時接続する必要がなくなります。デバイスはあなたの管理サーバーにつながり、あなたが定義したコマンド、設定、コンフィギュレーション、アプリを受け取ることができます。



構成プロファイル

...とは、様々な設定をあなたのApple製デバイスに定義し、どのように機能するか、デバイスに伝えるものです。これはパスコード、Wi-Fiパスワード、VPNコンフィギュレーションの自動設定に利用できます。また、Apple Storeやウェブブラウザ、デバイスの名前変更などデバイス機能のアイテムを制限するためにも利用されます。Jamf Pro (ジャムフプロ) といったMDMソリューションの導入によって、こうしたプロファイルのすべてを特定してデプロイすることができます。



管理コマンド

...とは、特定のアクションを取るよう管理しているデバイスに送信することができる単一のコマンドです。デバイスを紛失しましたか？紛失モードにするか、リモートワイプコマンドを送信します。OSのアップグレードが必要ですか？ダウンロードとアップグレードのインストールを送信します。これは、完全に管理されたApple製デバイスで行うことができるアクションの例です。



MDMとクライアント管理

AppleのMDMフレームワークがiOSおよびtvOSデバイスに関して必要なコントロールを提供する一方で、macOSはより高度な機能を必要とする、より強固なプラットフォームです。(macOSのみ利用可能な)クライアント管理を活用すると、Macエージェントまたはバイナリをインストールすることができ、すぐ後にデバイスが管理下に加わります。

このエージェントによって、非表示のアドミアカウントが追加され、macOSへのルートアクセスによる遠隔操作が可能となり、コンピューター上で実行されるより多くのポリシーやスクリプトへの扉を開けます。エージェントベースのMac管理は、内蔵されたMDMを超えるため、より高度なMac管理を最大限に利用するためには、Jamf Proのような第三者ソリューションが必要となります。

クライアント管理機能の例:



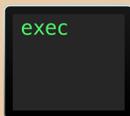
PKG/DMGのインストール



FileVaultの実行



ディレクトリへのバインド



スクリプトの実行



ドックのカスタム化



EFIパスワードの設定



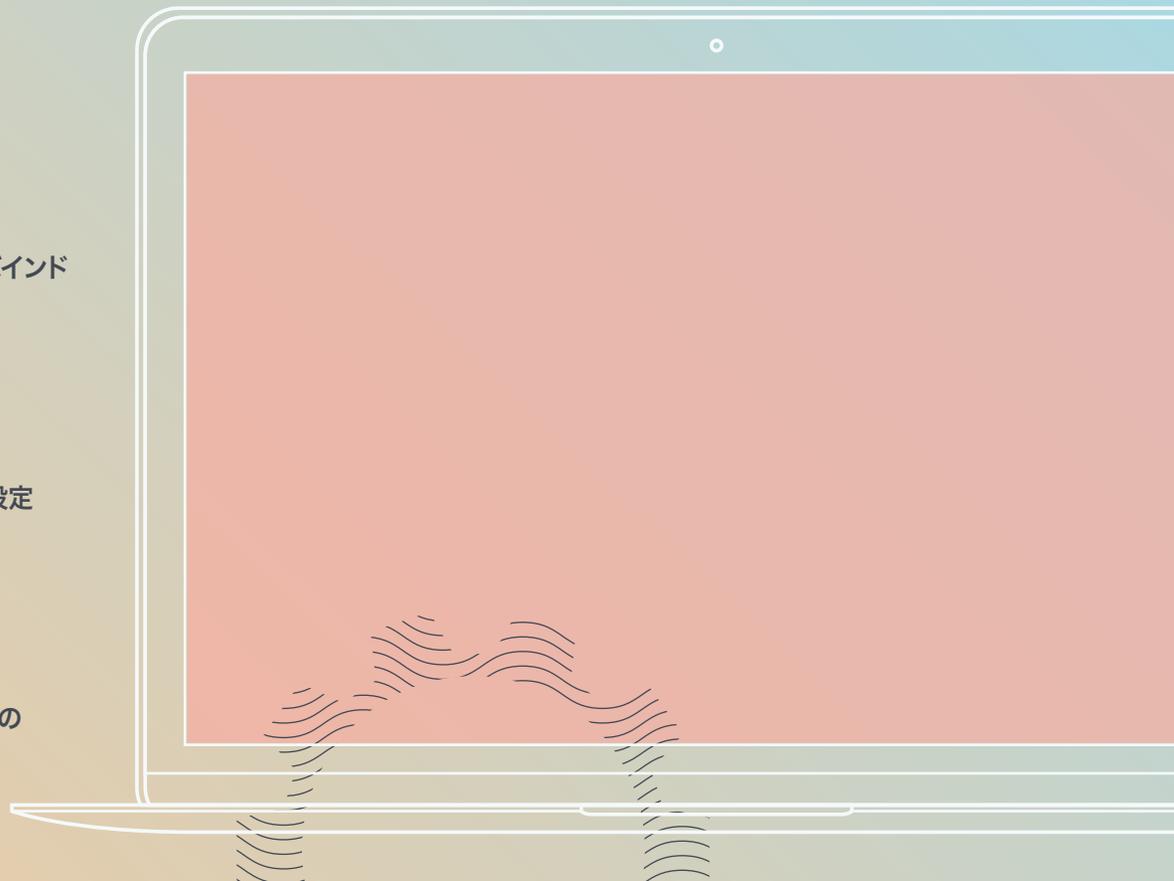
プリンターのインストール



アカウントの作成



ソフトウェア更新の設定





Appleサービスとプログラム

Apple製デバイスはビジネスや教育の場で人気が高まるにつれて、どの規模でデバイスをデプロイするのがベストなのか、Apple IDおよびアプリの購入をどのように実行すべきか、取り組むべき問題が増えました。当然、Appleは問題解決に取り組み、様々なプログラムとサービスを紹介し、より簡単に経済的にデバイスを一括で管理してデバイスマネジメントをもう一步発展させました。

AppleデバイスマネジメントソリューションがすべてAppleプログラムとサービスをサポートするわけではありません。年間を通じてAppleが行っている斬新な変更と同様に、こうしたプログラムをベンダーがサポートしているか確認してください。



モバイルデバイス導入プログラム (DEP)

この自動化された導入プロセスにより、Apple またはApple 認定再販業者から購入した Mac、iPad、iPhone、Apple TVの設定が可能となり、あなたのユーザー向けに、デバイスに直接触ることなく、デバイスごとにカスタマイズすることができます。ハードウェアの購入はあなたのApple顧客番号または再販業者IDと関連付けられていて、DEPとリンクされているので、Apple管理ソリューションの管理下にデバイスが自動的に入ることになります。DEP 導入により、エンドユーザーに対して素晴らしいゼロタッチ経験を提供することができます。簡単です、箱を開けてデバイスの電源を入れれば、もう利用できます。



デバイスのスーパービジョン (監視)

スーパービジョンは iOSのスペシャルモードで、DEP またはAppleコンフィギュレーター経由で導入されると tvOS デバイスに組み入れられます。スーパービジョンにより、組織が所有するiOS端末を厳しく管理することが可能になります。紛失モードを含む多数の管理機能があり、アプリのブロックや速やかなアプリのインストールにはすべてスーパービジョンが必要となります。企業所有および学校所有のデバイスにスーパービジョンモードを入れることをお勧めいたします。



一括購入プログラム(VPP)

VPPを使うと、Apple からアプリや書籍を一括購入したり、権限を与えたりすることができ、Apple ID経由で配布したり、Apple ID抜きでデバイスに直接配布したりできます。アプリは、デプロイメントが変更を必要とするため、再度割り当てができません。(Apple から受け取った) VPP トークンをMDMソリューションにリンクして、割り当てや配布に使うことができます。教育関係者の場合、あなたの VPPインスタンスはApple スクールマネージャー(次ページ参照)に組み込まれます。



Apple ID

Apple IDは個人アカウントで、ユーザーはApp Store や iTunes Store、iCloud、iMessage 等のAppleサービスにアクセスするために使います。組織のニーズ次第で、エンドユーザーは自分のApple IDを仕事で活用できますが、Apple IDを一緒に使わないようにすることもできます。教育関係者の方の場合、生徒/学生にタイプの異なるApple IDを持たせることもできます(次ページ参照)。





Apple スクールマネージャー

2017年にスタートした Apple School Managerは、IT管理者が教師や生徒／学生、デバイスそしてコンテンツなどすべてを一箇所から監視するためのwebベースポータルです。教育の現場に特化したもので、Apple School ManagerはDEP、VPP、クラスルームアプリなど、その他の教室管理ツールを一つのポータルでつなげます。Apple School Manager により、管理対象Apple IDおよび共有iPad が可能となり、あなたの生徒たちの情報システム(SIS)に統合することができます。



クラスルーム アプリ

iPad用の教育ツールで、Appleのクラスルームアプリによって、教師は教室内の指導を効率化して意思の疎通や協調することを生徒たちに促しつつ、生徒のiPadデバイスを特定のアプリまたはウェブページに集中させ、生徒の理解度をチェックするためにデバイスを見る権限が与えられます。



管理対象Apple ID

教育機関に対しては、管理対象Apple IDが生徒向けの特別なタイプのApple ID となります。特別な許可を必要とせず、IT管理者としてユーザー情報を作成し、同時に更新することができます。管理対象 Apple IDは、Apple School Manager ポータルで作成され、クラスルームデータとあなたの学校のSISと同期させることができます。



共有 iPad

生徒一人一人に合った学習経験を提供することで、共有iPadはそのiPadデバイスの価値を広げるのです。個人IDを持つ生徒数人が彼らのアプリにログインまたはログアウトしても、コンテンツや作業は維持されます。共有iPad は、教育機関でのみ利用ができ、Apple School Managerが必要となります。





ライフサイクル 管理ステージ

Appleのデバイスマネジメントフレームワークとは通常MDMフレームワークとされており、あなたのApple製デバイスのライフサイクル前端を通じて六つの大事な要素を含みます。

MDMは、macOS、iOS、tvOSで利用可能な内蔵管理フレームワークであり、次のような機能を搭載しています。

1 デプロイメントとプロビジョニング

エンドユーザーにデバイスを譲渡する

2 設定管理

デバイスへの正しい設定を実行する

3 アプリ管理

正しいソフトウェアとアプリが各デバイスにあることを確認する

4 インベントリ

各デバイスの状態を報告する

5 セキュリティ

デバイスを組織の標準に合わせる

6 ユーザー権限委託

ユーザーがリソースとサービスを必要とする際に、自身で解決できるようにする

初期のデプロイメントからエンドユーザーエクスペリエンスまで、あなたの環境におけるデバイスのライフサイクル全体を理解、管理、そしてサポートすることは非常に重要なことです。それをすることで、Apple製デバイスの安全性を確保し、その可能性を最大限に引き出すことができるのです。



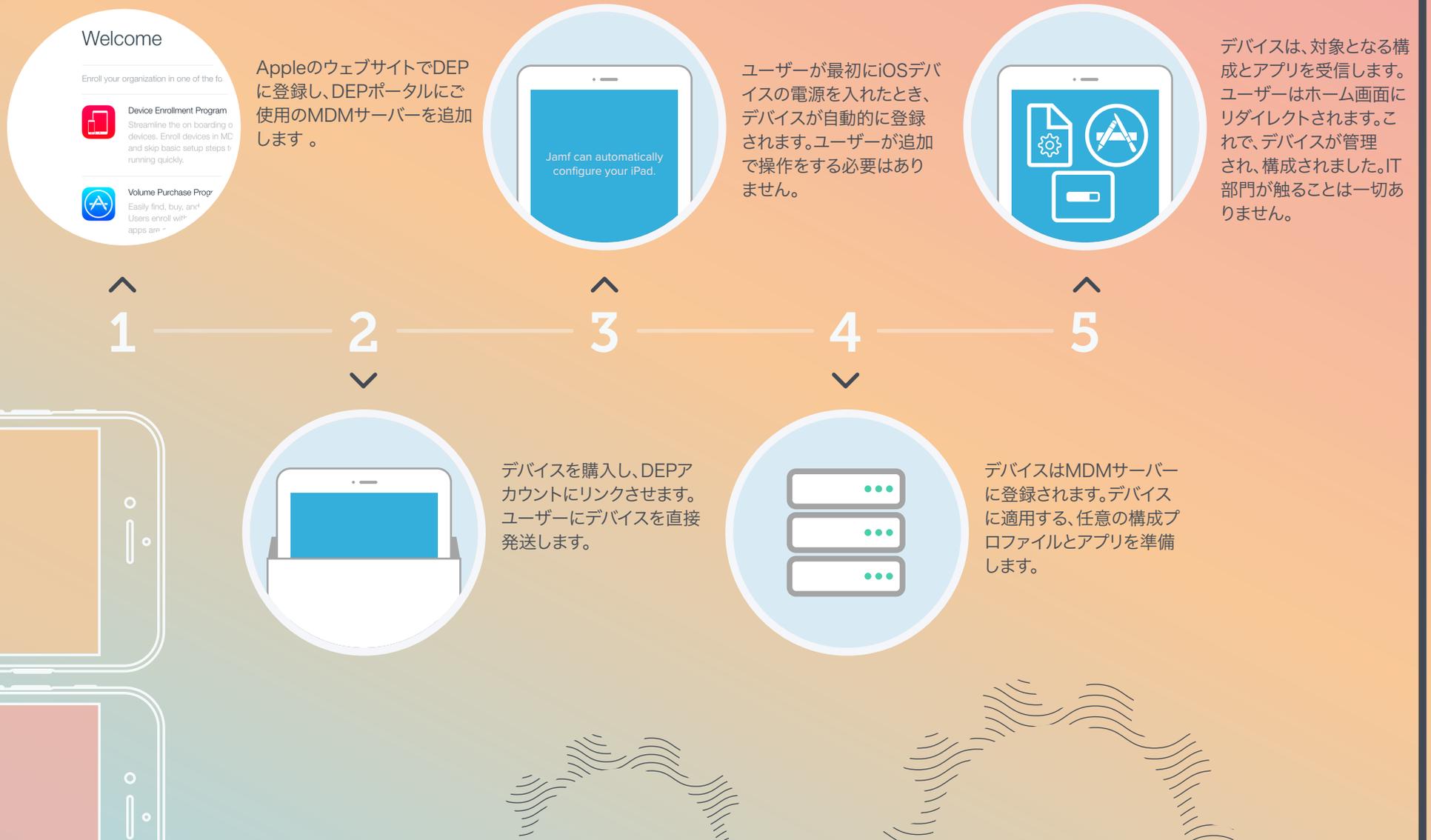
1 デプロイメントとプロビジョニング

エンドユーザーのためにデバイスを設定する前に、デバイスはMDMソリューションの管理下に入らなければなりません。登録方法はいくつかありますが、効率的かつ積極的なエンドユーザーエクスペリエンスを求める企業および教育機関には、次で示される二つの方法がお勧めです。

	説明	ユーザーエクスペリエンス	監督 (iOS)	最適
Device Enrollment Program (DEP)	無線での自動登録	ユーザーはパッケージ化されたされたボックスを受け取り、電源を入れると、デバイスは自動的に設定されます。	はい - ワイヤレスで	デバイスをエンドユーザーに送る
Apple School Manager (教育のみ)で自動化されたデプロイメント	ワイヤレスでの自動登録	ユーザーは密封されたボックスを受け取り、デバイスの電源を入れると自動的に設定が始まります。	そうです、ワイヤレスです。	義務教育におけるiPadプログラム。生徒たちに独創的な経験をさせる
Apple Configurator (iOSおよびtvOSのみ)	USBでデバイスに接続するMacアプリを使用した登録 (Apple TV 4kは不可)	該当なし - IT部門はこのプロセスを管理し、ユーザーにデバイスを手渡す	はい - 有線	共有モデルおよびカート
URLを使用してユーザーが開始	無線での手動登録	ユーザーが特定のURLにアクセスして、自動でデバイスを構成する	いいえ	デバイスは現在、登録が必要な現場にある

ベストプラクティス

DEPによるゼロタッチ・デプロイメント



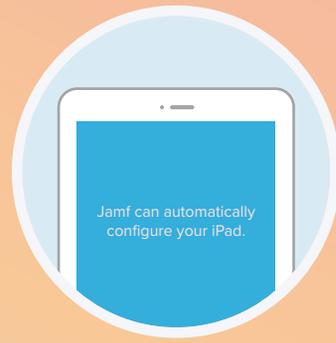
Welcome



1

AppleのウェブサイトにてDEPに登録し、DEPポータルにて使用するMDMサーバーを追加します。

2



3

ユーザーが最初にiOSデバイスの電源を入れたとき、デバイスが自動的に登録されます。ユーザーが追加で操作をする必要はありません。

4



5



デバイスを購入し、DEPアカウントにリンクさせます。ユーザーにデバイスを直接発送します。



デバイスはMDMサーバーに登録されます。デバイスに適用する、任意の構成プロファイルとアプリを準備します。

デバイスは、対象となる構成とアプリを受信します。ユーザーはホーム画面にリダイレクトされます。これで、デバイスが管理され、構成されました。IT部門が触ることは一切ありません。

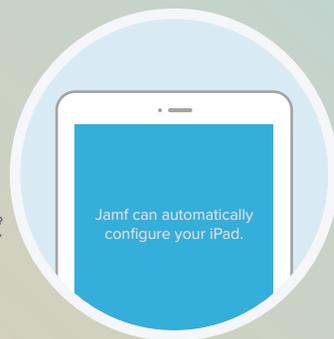
ベストプラクティス

Apple School Manager によるゼロタッチ・デプロイメント



1

<https://school.apple.com/> から Apple School Manager にサインアップし、お使いの MDM サーバーを Apple School Manager ポータルに追加してください。



3

ユーザーが最初にiOSデバイスの電源を入れたとき、デバイスが自動的に登録されます。ユーザーが追加で操作をする必要はありません。



5

デバイスは、対象となる構成とアプリを受信します。ユーザーはホーム画面にリダイレクトされます。これで、デバイスが管理され、構成されました。IT部門が触ることは一切ありません。



2

デバイスを購入し、DEPアカウントにリンクさせます。ユーザーにデバイスを直接発送します。



4

デバイスはMDMサーバーに登録されます。デバイスに適用する、任意の構成プロファイルとアプリを準備します。

DEPまたはApple School Managerが使えない場合、組織は従来のイメージングワークフロー経由（DEPにはあまり推奨されない）でMacを使えるように設定できます。iOSおよびtvOSデバイスに登録するAppleコンフィギュレーターを活用するか、ユーザー主導でMacおよびiOS端末に登録することもできます。

2 設定管理

Apple製デバイスの設定はすべて、あなたの思いのままです。あなたのエンドユーザーのニーズに基づき、個人のデバイスまたはグループのデバイスを変更したり、調整することができます。

何から始めましょうか？ここにあるMDMコンフィギュレーションのプロファイルリストをチェックするか、[Jamf Nation](#) の会話に参加しましょう。



構成プロファイル

構成ファイルを作成して、iOS、macOS、tvOS 内で設定を定義します。小さいXMLファイルは、管理されたソリューションを利用するデバイスに配布できます。Wi-FiやVPN、Eメールの設定にも適用できますし、ユーザーは必要なリソースにシームレスに接続できます。



ポリシー

Jamf Pro での Mac OS クライアント管理に限っては、ポリシーはMDMコンフィギュレーションプロファイルの基本的なデバイス管理機能に勝るもので、カスタマイズされたソフトウェアやプリンターのインストール、ローカルのユーザーアカウントの管理、高度管理ワークフローの実行に役立ちます。



スマートターゲティング

あなたが定義した顧客インベントリ属性を含むインベントリの詳細を集め、管理対象デバイス全てに、どのデバイスがソフトウェアのアップデート、セキュリティ強化、その他の管理行動を必要としているのか認識します。インベントリ基準に基づいてグループを構築すると、特定の個人やグループに対してデバイス管理タスクを自動開始したり、ユーザーが Self Service を使ってアイテムをオンデマンドで利用できるようにします。



スクリプト

ポリシーの一部として、お使いの顧客管理ソリューション内でのAppleデバイス管理メント能力を利用するMacOSのシェル・スクリプトを実行します。コマンドラインを經由して端末で実行できることは、全てスクリプトに変わります。スクリプトの実行能力で、標準的な構成プロファイルよりも柔軟性が高くなり、無限のデバイス管理機能を可能にします。

3 アプリ管理

アプリ基本

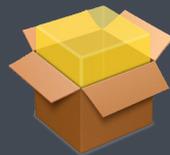
私たちは現在、使用するiPhone、iPad、Apple TV デバイスのApp Storeをよく知っています。利用者が自分のデバイスにアプリを入れるには、App Storeしかありません。Appleはデベロッパーのコードを確認し、セキュリティとパフォーマンスを保証します。これは、Appleが安全性に関して高い評価を受けている理由の一つです。しかしMacに関しては、App Store以外からソフトウェアを入手することができます。

MacのApp Storeにない人気のタイトルにはMicrosoft Office や Adobe Creative Suiteが含まれます。それゆえ、カスタムソフトウェアのデプロイが可能になるMac顧客管理ツールの存在が重要なのです。Jamf Proのような管理ツールは、インストールのスナップショット前と後を作成することで、カスタマイズした.pkg または .dmg (Macソフトウェアインストールファイルの種類) を構築する能力を持ちます。このソフトウェアパッケージは、ユーザーが管理者を必要とすることなく、管理対象Macにデプロイすることができます。

ソフトウェアのインストールとパッチング



ソフトウェアのインストールのスナップショットをとる



カスタマイズされた .pkg または .dmg を作成する



Jamf Agent 経由でインストールをプッシュする

Apple製デバイスは、細かい設定を必要としないで使える生のコミュニケーション、学習、生産性向上ツールであるため、消費者の間で大変な人気です。しかし、App Storeにある豊富なアプリのライブラリこそがAppleエコシステムを際立たせるものです。お使いのアプリデプロイメントを管理するための所定のデバイスマネジメントソリューションを使って、ユーザーが必要とするアプリがあることを確認します。

あなたの組織がAppleの内蔵アプリか、App Storeから何百万もあるアプリのうち一つ(またはそれ以上)の使用を選ぶか、またはあなたの組織内で作成するかどうか、あなたはユーザーが必要とするアプリが全てあること、そしてあなたの環境内が適切に安全であることを確認する必要があります。

お使いのデバイスに利用できるアプリ管理オプションが三つあります。



企業向け VPPでアプリをデプロイする



教育目的のApple School Managerでアプリをデプロイする



Apple TVのアプリをデプロイする

App Storeにあるソフトウェアについては、Appleプログラムを使って、Apple IDを使わずにアプリに使用許可を与え、デバイスに配布できます。

3 アプリ管理

VPPまたはApple School Managerを経由してApp Storeのアプリをデプロイする際、そのアプリ(iOSのみ)向けに特別なセキュリティとコンフィギュレーションを取得します。可能なことは以下の通りです:



マネージドアプリとは

iOS 5で導入されたマネージドアプリは、組織の所有物としてフラグが立てられているため、標準アプリとは異なります。具体的には、マネージドアプリはMDMテクノロジーを使用して配布され、アプリのデータのバックアップを防止するように設定し、MDMプロファイルを削除すると削除されます。



マネージドオープンイン

マネージドオープンインは、あるアプリから別のアプリへのデータの流れを制御することによって、マネージドアプリの概念をさらに進化させます。組織は、iOS共有シートに表示され、ドキュメントを開くアプリを制限できます。これにより、コンテナの必要なく、真のネイティブデータ管理が可能になります。



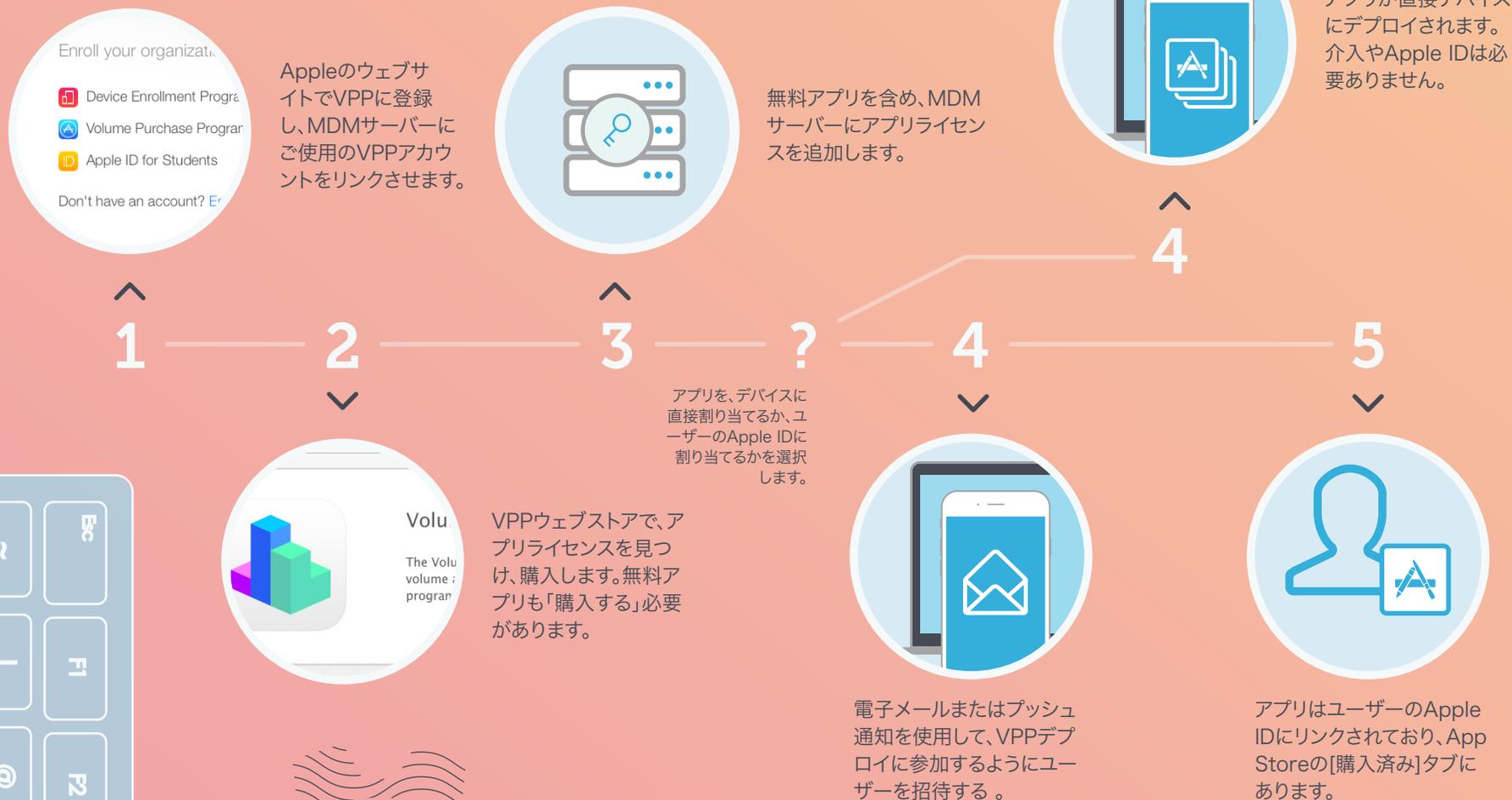
アプリ構成

アプリのデプロイでは不十分で、設定の一部をあらかじめカスタマイズする必要がある場合があります。これはApp Configurationsの前提です。アプリの開発者は、MDMサーバーによってアプリに事前設定できる設定を定義できます。たとえば、サーバーURLがあらかじめ入力された状態でBoxアプリをデプロイすると、ユーザーはアプリケーションを起動して実行するためにユーザー名とパスワードを入力するだけで済みます。

ベストプラクティス

企業向けのVPPでアプリをデプロイする

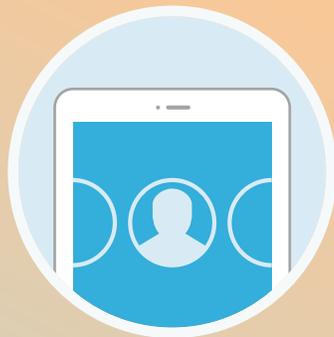
企業向けのVPP (近日中に Apple Business Managerとなる): 一括でアプリを購入し、自動的に配布する能力。



ベストプラクティス

教育目的のApple School Managerでアプリをデプロイする

教育目的のApple School Manager: Apple IDをセットアップしたウェブポータル、管理デバイスの登録と一ヶ所から全てのアプリを配布します。



<https://school.apple.com/> から Apple School Manager に登録し、お使いの MDM サーバーを Apple School Manager ポータルに追加してください。

1



ご自分のMDMサーバーに、無料アプリを含めて、アプリのライセンスを追加してください。

3



Apple School Managerウェブストアからアプリのライセンスを見つけて、購入してください。また、無料アプリを「購入」する必要があります。



アプリは直接デバイスにデプロイされます。やりとりなし。Apple IDも不要。

4

ベストプラクティス

Apple TV向けのアプリデプロイメント

Apple TV は、企業アプリへのサポートを提供します（通常社内アプリと言われます）。こうしたアプリはあなたの管理サーバーにアップロードされ、お使いの Apple TVデバイスに、ちょうどiOS端末のように自動でApple IDがなくてもプッシュされます。Apple向けの人気企業アプリ電子看板、緊急警報などを含むTV。



構成プロファイル

MDMソリューションを使って、ITはtvOS構成プロファイルとともに設定が定義できて、Apple TVデバイスに配布できます。その結果、Wi-Fi、制限、AirPlay設定がより簡単に、無線で適用できるようになります。さらにApple TVデバイスは、単一のアプリモードに入れられ、Apple TVエクスペリエンスを直感的プレゼンテーションワークフローのためのクラスまたはConference Display モードによってカスタマイズされます。



スマートターゲティング

自動的にインベントリの詳細を収集することができるため、全管理対象デバイスからのApple TVデバイス名を含めて、ITは迅速かつ正確にどのデバイスがアクションを必要としているか確認できます。インベントリ情報に基づき、ITは対象とするグループを構築し、自動デバイス管理タスクを作動させることができます。例えば、ITは今、Apple TVデバイス全てを 設定されたAirPlay抜きで見つられ、その設定をデプロイすることができます。



アプリのカスタマイズと表示サポート

ビジネスで、他にはないアプリエクスペリエンスを作成してカスタマイズされたフル画面エクスペリエンスを提供する場合、またはそうすることができたら、ITはMDMを活用し、無線でカスタマイズされたアプリをデプロイすることができます。さらに最新のtvOSでは、ITはホーム画面のレイアウトを設定、年齢ガイダンスに従ってメディアコンテンツの制限、アプリを表示/非表示ができます。

Apple TV デプロイメントの全てを知りたいですか？



Apple TV Management 白書 をチェックしてください。

MENU



4 インベントリ

大量のインベントリデータを収集するため、MDMは、iOSデバイスにクエリを発行し、常に最新のデバイス情報を保持し、管理上の決定を情報に基づいて下すことができます。さまざまな間隔でデバイスからインベントリを収集でき、シリアル番号、iOSバージョン、インストールされているアプリなどを含めることができます。

MDMを使用したデータの収集



ハードウェアの詳細:

- デバイスタイプ
- デバイスモデル
- デバイス名
- シリアル番号
- UDID
- バッテリーレベル



ソフトウェア詳細:

- OS のバージョン
- インストール済みアプリのリスト
- ストレージの容量
- 空き容量
- iTunes Storeのステータス



管理詳細

- 管理ステータス
- 監督ステータス
- IPアドレス
- 登録方法
- セキュリティステータス



その他の詳細

- インストール済みプロファイル
- インストール済み証明書
- アクティベーションロックステータス
- 購入情報
- 最近のインベントリアップデート

4 インベントリ

インベントリが重要な理由

MDMが収集したインベントリデータは、教育ニーズの広い範囲で使うことができますし、次のような質問に答えることができます。



自社のデバイスがすべて安全か？

これまでいくつのアプリをデプロイしたか？

そのバージョンのiOS、macOS、tvOSが特定のデバイスで実行されるのですか。

管理ソリューションは特定のハードウェアおよびソフトウェアのアドオンに関する追加（カスタマイズされた）インベントリを集めることまでも可能なのです。例えば、第三者バックアップユーティリティが最後に実行されたのはいつか、またはどのプリンタードライバがインストールされているのかを知ることができます。

スマートターゲティング

インベントリデータを活用することで、スマートターゲティングが動的にデバイスをグループ化し、構成プロファイルとこうしたデバイスに対する制限をデプロイすることを可能にします。Jamfでは、これをSmart Groupsといいます。

静的グループ

プロファイル/ポリシーの適応



スマートグループ

8GB RAM、80%のフルハードドライブ、10.12.2以上のMacを見つけてください。



プロファイル/ポリシーの適応

静的グループ VS. スマートグループ

静的グループは、クラスルームまたはラボのように定義されるデバイスのセットのことです。グループ全体に管理ポリシーを適用することができます。

一方、**スマートグループ**は動的で、つねにインベントリデータに基づき変化しています。このため、デバイスを動的にグループ化、構成プロファイル、こうしたデバイスに対する制限をデプロイすることができます。

5 セキュリティ

デバイスのセキュリティおよびプライバシー、企業リソースへのアクセスはどんな組織においても最重要事項です。この課題に取り組むために、Appleには macOS、iOS、tvOSに直接組み込まれた数々のセキュリティ機能があります。

MDM ソリューションと合わせて、お使いのデバイスが安全なだけでなく、アプリおよびネットワークも同様にその安全性を確保します。



iOS セキュリティ機能



Software Updates



Secure System



App Store



Touch ID



Hardware Encryption



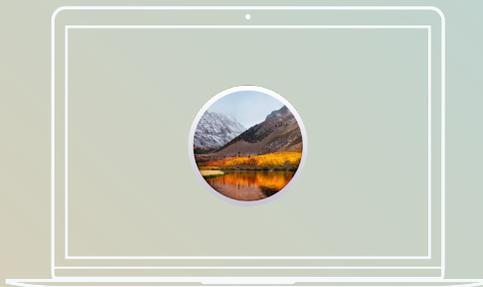
App Sandboxing



Privacy



Supervision



macOS セキュリティ機能



Software Updates



System Integrity Protection (SIP)



Gatekeeper



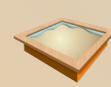
App Store



FileVault Encryption



XProtect



App Sandboxing



Privacy



tvOSはiOSの多くのセキュリティ機能を活用しています。例えば、Appleから直接ソフトウェアをアップデートする、審査され安全なApp Storeアプリ、App Sandboxingによるアプリデータ保護、監視を通して行われるより深いレベルの管理など。

管理を使って、Apple TV 設定は AirPlayセキュリティをデプロイすることができます。Apple TVのApple製デバイスとペアリングすることができるので、正しいデバイスだけワイヤレスでスクリーンを共有できます。

5

セキュリティ

Unix はAppleのオペレーティングシステムの基礎で、その中心にカーネルを提供します。AppleのOSは心に安全をもたらし、類を見ないセキュリティ設定を追加します。こうした設定は MDM ソリューションで管理されます。

さらに、AppleのデプロイメントプログラムをMDMソリューションで活用することで、皆さんの環境内でこうした設定を管理することが可能になります。



5 セキュリティ

macOS、iOS、tvOS 用のMDM安全コマンド



macOS

- FileVaultの実行
- Gatekeeper設定の実行
- ソフトウェアアップデートの設定^e
- コンピューターのロック、ワイプ、再起動
- 制限付きアプリの削除
- MDMの削除



iOS

- 紛失モードの有効化
- デバイスをロックまたはワイプ
- リモートワイプ
- iOSのアップデート
- 規制およびパスコードを消去
- MDMの削除



tvOS

- リモートワイプ
- デバイスの再起動
- シングルアプリモード
- 制限付きアプリの削除



iOS向けMDM 紛失モード

MDM ソリューションでApple紛失モードを利用し、追跡中のプライバシー侵害を心配することなく、紛失または盗まれたiOS端末のロックする、見つける、取り戻すことができます。紛失モードが有効になると、iOS端末はカスタマイズされたロック画面メッセージを受け取って使用できなくなり、IT にデバイスの位置情報を送信します。



Conditional access

Windows Azure AD および Office 365を利用している組織は、Mac デバイスの条件付きアクセスパスを実行しなければなりません。最高レベルのMDM ソリューションが内蔵された条件付きアクセスインテグレーションを提供しています。



ソフトウェアのアップグレード

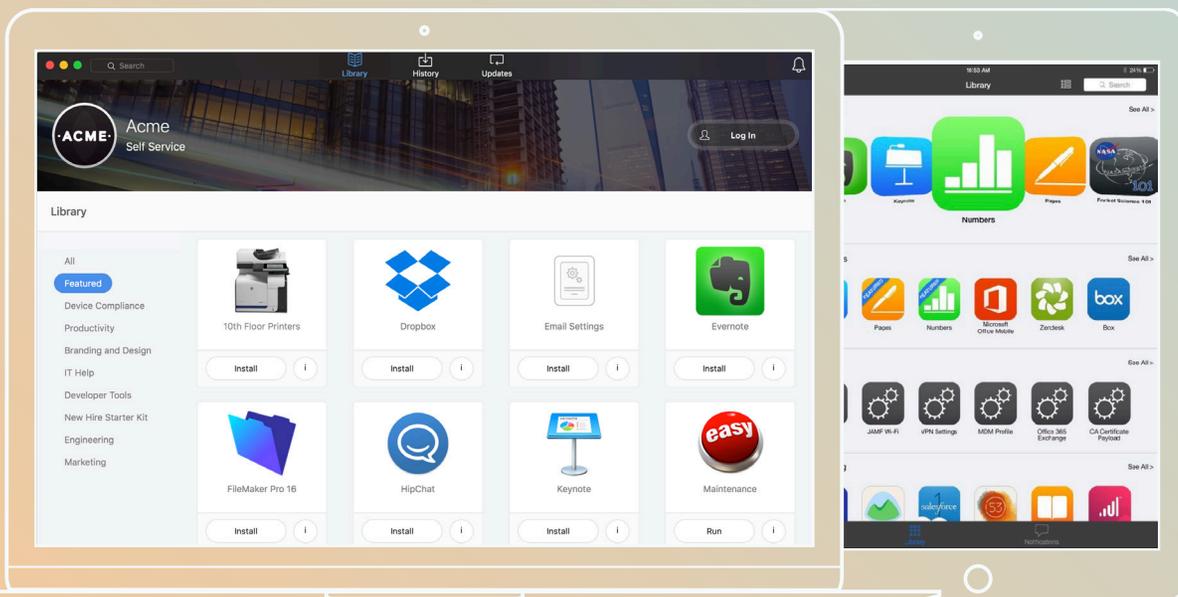
macOS、iOS、tvOSの主要なバージョンを毎年開発することで、Appleはイノベーションをリードしてきました。Appleは毎年新しく優れた機能を発表するだけでなく、セキュリティの層を厚くし、脆弱性を克服しています。データを守るためには、社員や生徒がデバイスをこのようなアップデートを実行することは不可欠です。管理ソリューションはAppleからアップデートできる必要があるだけでなく、(できれば使用を開始した日から)商品についてきたすべての新規管理機能を迅速にサポートする必要があります。

6 ユーザーエンパワーメント(権限委託)とユーザーアドプション

LyftやAmazon Prime、WebMDのような自己解決のために役立つ情報ツールの発展とともに、現代の仕事人は必要なツールを必要な時に利用できることを求めています。企業アプリカタログは、ユーザーがITにヘルプデスクチケットを提出しなくても、手元のデバイスを一回クリックするだけで、信頼できる役に立つリソース、コンテンツ、ティアに即アクセスができるようにします。

Macのアプリカタログ

モバイルのアプリカタログ



企業アプリカタログとともに、ユーザーは次にアクセスすることができます。

- アプリストア、B2B、社内アプリ、第三者ソフトウェアへのアクセス
- 電子メール、VPN、その他の構成
- E-ブック、ガイド、ビデオ(動画)
- ブックマーク、ショートカット
- プリンターマッピング、ドライバー
- ヘルプデスクチケット、ハードウェアのリクエスト
- パスワードのリセット、コンプライアンス情報
- 基礎メンテナンス、システム診断
- ソフトウェアやOSのアップグレード
- シングルサインオン(SSO)インテグレーション
- 英語、フランス語、ドイツ語、日本語、簡体字中国語への言語翻訳サポート

例:MacおよびiOS向けのJamfセルフサービスでは、組織内リソースまたは企業イントラネットとシームレスに統合することが可能な自社ブランドアプリのカタログを提供しています。

6 ユーザーエンパワーメント(権限委託)とユーザーアドプション

オンデマンドアプリとリソースカタログの長所

IT 担当者にとっての利点

- 環境制御を維持しつつ、ヘルプデスクチケットとサポート経費を削減できます。
- 管理対象Mac、iPad、iPhone にJamfセルフサービスのようなアプリカタログを自動インストール。
- ディレクトリサービスに統合し、部署、ユーザーの業務、場所などに基づいてコンテンツを個人向けにアレンジ。
- パスワードのリセットやシステム診断などの一般的な IT 処理を自動化してサポートを不要に。

ユーザーにとっての利点

- エンドユーザーはフルサービスかつセルフヘルプで、豊富なリソースの接続先にすぐにアクセスできます。
- 直観的なユーザーインターフェースを現地の言語と環境に合わせて個別設定。
- HR ツール、コミュニケーションプラットフォーム、内部リソースなどの一般的な Web サービスをブックマークして、価値の高い企業情報へのエントリーポイントを簡易化。
- 組織が認めたアプリを IT 部門の助けを借りることなくインストール。
- プリンターのインストールやソフトウェアのアップデートなどの一般的な IT 問題を迅速に解決。
- 利用可能なサービスやセキュリティ強化があればリアルタイムで通知を受信。

最高レベルのMDM ソリューションが、既存の企業リソースと一致するようにあなたのアプリカタログを自社ブランド化することができます。既存の内部プロパティでアプリカタログをシームレスに統合できます。



ボーナス: 第三者インテグレーション

Appleデバイスマネジメントはみなさんにとってテクノロジーポートフォリオの一つにすぎませんが、重要かつ役立つものなのです。**ServiceNow**やOktaのようなSSO認証ツールといったヘルプデスクチケットシステムを使っているかどうかにかかわらず、あなたのAppleデバイスマネジメントソリューションは既存のITツールでシームレスに統合される必要があります。

Jamf Marketplaceで見られるような第三者インテグレーションを活用することで、あなたが持つ力を最大限にし、エコシステムのパワーを拡張させてください。エンドユーザーのシームレスで安全なエクスペリエンスを作り上げることで、業界間のインテグレーションから特定のソリューションまで、こうしたインテグレーションはITチームとサービスの橋渡しをします。

これまで以上に多くの組織がクラウドに移行しています。

Eventbrite のような企業団体がクラウドに移行している理由は次の通りです。

クラウドホスティングの利点



サーバーのプロビジョニング、継続的なセキュリティ対策、更新の管理



バックアップの管理とテスト



グローバルな可用性を実現するストレージインフラストラクチャ



災害時復旧のための代替の場所



データベース管理、継続的なセキュリティ対策と更新



サーバー監視と対応チーム



インフラ計画

マネージメント環境をホストするところは、あなたが選択した管理ソリューションと同じくらい重要です。クラウドホスティングがブリーズをアップグレードだけでなく、サーバー管理、災害復旧時のプレッシャーを取り除き、ITが関わらなくてもよくなっています。



業界トップのAppleマネージメント

Appleは、デバイス間ですべてに対応したアプリとサービスで相互接続したエコシステムを構築し続けます。IBM、Cisco、SAPなど成長する企業パートナーシップと技術選択プログラムにおけるブームはMac、iPad、iPhone、Apple TVデバイスをもっとみなさんにお届けするだけです。

Appleおよび技術投資を最大限に生かすためには、Appleの直感力と一致し、Appleを手にとったその時から、Appleを使った人が成功するお手伝いが最優先事項であることを証明してきた管理ソリューションが必要となります。

Apple マネージメントの規範として2002年からAppleエコシステムに貢献するJamfは、Appleを提供したいビジネスおよび学校に最も信頼を置かれている商品で、エコシステム全体を通して、継続的な管理エクスペリエンスを提供しています。



すべてのApple製デバイスと統合し、Appleオペレーティングシステムへの即時サポートをすることで、Jamfは必要なサポート全てに取り組むために必要なツールを使って権限と戦略的なタスクに専念する自由を与えてくれます。だからこそ、組織の時間および経費を節約することができます。

無料テストドライブをして、我々の考えをテストに反映させています。Jamfの顧客のうち96%が当社を利用し続ける理由がお分かりになるとと思います。

トライアルを開始する